

福島県三島町

広報

平成28年5月6日発行
(毎月第1金曜日発行)

Public relations
of Mishima town,
Fukushima in Japan

みしま

2016

May

5

No.278

三島小学校交通安全教室

冬の寒い時期が終わりを告げ、暖かい季節がやってきた。町内には子ども達が外で楽しく遊ぶ声が響きわたる。楽しく、安全に外で遊べるよう、小さな命を自ら守るべく三島小学校交通安全教室が快晴のもと行われた。
(4 ページに関連記事)

5月 目次



2 カタクリ・さくらまつり

3 三島町議会議員一般選挙
町民の代表 8 名が決定

4 三島小学校交通安全教室
平成 28 年春の防火パレード
三島消防署よりお知らせ

5 三島保育所入所式
三島小学校入学式
三島中学校入学式

6 町民記者通信
さくらとカタクリの共演で大いに賑わう（西方地区）／春を告げる「大神楽」公演（桧原地区）／「宮下駅前壁画プロジェクト」除幕式（宮下地区）／平成 28 年度三島町無火災祈願祭（宮下地区）

7 三島町役場新採用職員紹介
三島町新地域おこし協力隊紹介

8 民 話【第 61 回 5 月の節句の話】

9 町史編さん室だより

10 県立宮下病院より

11 社会福祉協議会より

12 各種お知らせ
13

14 工人まつり / 町長日記

【第3回カタクリ・さくらまつり開催】 県内外より約 1,600 人が来場



例年になく暖かさで、大林ふるさとの山では、カタクリとさくらが早い開花を迎えました。第三回カタクリ・さくらまつりは、四月十四日～十八日までの期間で開催。地元の西方地区と西方共有財産管理会の方々が整備を行い、西方カタクリの会の皆さんが、来場者におやきやお茶をもてなした他、山菜やスイーツなどが販売され、まつりを盛り上げました。来場者の皆さんは、カタクリとさくらのコラボレーションに胸を打たれながら、自由に散策し、おもしろい写真撮影をしていました。



福島県大沼郡三島町 みしまち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



三島町に生息する二ホンカモシカ

【三島町議会議員一般選挙】

町民の代表八名が決定

届出順に掲載

(当選者の略歴)
① 当選回数 ② 住所
③ 学歴 ④ 職業 ⑤ 経歴

立候補者は九名が投票で決まる



二瓶 俊浩さん
にへい としひろ 54 歳 無現
① 2 回目 ② 大谷 ③ 県立坂下高等学校 ④ 会社員 ⑤ 総務文教常任委員長



五十嵐 健二さん
いがらし けんじ 61 歳 無現
① 3 回目 ② 宮下 ③ 会津工業高等学校 ④ 木工業 ⑤ 消防団第一分団長



長谷川 清雄さん
はせがわ きよお 70 歳 無現
① 2 回目 ② 川井 ③ 会津伝習農場 ④ 農業 ⑤ 町農業委員



菅 家政義さん
かんげ まさよし 72 歳 無現
① 2 回目 ② 宮下 ③ 会津農林高等学校 ④ 商業 ⑤ 町商工会長



青木 喜章さん
あおき きしょう 64 歳 無現
① 1 回目 ② 西方 ③ 福島県農業短期大学 ④ 会社員 ⑤ 三島小・中 PTA 会長



大竹 克昌さん
おおたけ かつまさ 47 歳 無現
① 1 回目 ② 滝谷 ③ 喜多方工業高等学校 ④ 会社員 ⑤ 消防団第二分団長兼訓練部長



小柴 正洋さん
こしば まさひろ 51 歳 無現
① 2 回目 ② 西方 ③ 仙台デザイン専門学校 ④ 会社員 ⑤ 県環境保全推進員



矢澤 昇さん
やざわ のぼる 68 歳 無現
① 1 回目 ② 高清水 ③ 会津農林高等学校 ④ 農業 ⑤ 町体育協会会長



▲ 4 月 18 日、長谷川選挙管理委員長から当選証書が手渡される一位当選の大竹克昌さん。

任期満了に伴う三島町議会議員一般選挙は、四月十二日に告示され、立候補の届出の受付が行われました。今回の立候補者は現職五名、新人四名、計九名であったため、四月十七日に投票が行われ、定数の計八名の当選が決まりました。任期は、平成二十八年五月十一日から、平成三十二年五月十日までの四年間です。

四月十八日、当選証書付与式が町民センターで行われ、長谷川四平選挙管理委員長から当選者一人ひとりに当選証書が手渡されました。長谷川委員長は、「資源の乏しい市町村、少子高齢化、空き家が目立つ集落とどれをとっていてもただならぬ問題ばかりです。行政と議会が両輪のごとく留まることのない三島町の流れを作ってください」と話され、町民のための積極的な議会活動を求めました。



『げんきの木』を育てよう！ 三島保育所21名が入所

三島保育所入所式が4月4日に行われ、きりん組4人、ぱんだ組3人、うさぎ組4人、りす組10人、計21人の乳幼児が入所しました。五十嵐乃里枝所長は「保育所の皆さんでげんきの木を育てて保育所で楽しく遊びましょう」と式辞を述べました。その後、矢澤源成町長より交通安全帽子の贈呈が行われ、代表で布川芽依さんが受け取りました。式の終了後、歌遊びが行われ、入所児たちは楽しい保育所での生活をスタートさせました。



▲歌遊びを楽しむ入所児親子達



▲緊張した様子で校長の式辞に耳を傾ける新1年生



▲三星校長と新1年生と明るい社会づくり運動両沼地区協議会 馬場氏



一生懸命に挑戦する生徒に！ 三島中学校11名が入学

三島中入学式が4月6日に行われ、男子8人、女子3人、計11人が中学の門をくぐりました。新1年生は、緊張した様子で式に臨みました。佐藤昭校長は「どんなことにも一生懸命に取り組み挑戦するなかから将来の夢や希望を明確にして、そのための個性や能力を磨いていくことが大切です。一日も早く本校の校風にもなれ充実した学校生活を送ってください」と式辞を述べました。

新入生を代表して鈴木彩月さんが誓いの言葉を述べ、在校生を代表して坂内遥人くんが歓迎の言葉を述べました。



▲凛とした姿で入学式に臨む中学1年生



明るい笑顔の新1年生 三島小学校6名が入学

三島小学校の入学式が4月6日に行われ、男子2人、女子4人、計6人が入学しました。新1年生は一人ひとり名前を呼ばれると元気に返事をし、黄色い帽子と教科書を受け取りました。三星了一校長は「三島小学校では笑顔であいさつをしようを合言葉にしています。笑顔で言い合うと心と心が繋がります。とても幸せな気持ちになります。今日から三島小学校に来て笑顔であいさつをしてください」と式辞を述べました。

なお、黄色い帽子は、明るい社会づくり運動両沼地区協議会より、三島小学校に入学する児童のために、贈呈され、同協議会の馬場幸造さんより町教育委員会へ手渡されました。



交通ルールとマナーを学ぶ 三島小学校 交通安全教室

三島小学校交通安全教室が4月12日に校庭で行われました。三瓶駐在所長より交通ルールについて指導してもらったと、家庭の交通安全推進員の委嘱状を6年生代表二瓶宗悟君が受け取り、委嘱状の内容を読み上げました。児童たちは歩くときと自転車に乗っているときの横断歩道の渡り方や道路の安全な歩き方、ルールの違いについて一つひとつ確認していました。日常生活における安全を確認して、交通事故に十分注意しましょう。



▲旗を信号機に見立てて自転車で横断報道を渡る児童達



▲車列をつくり火災予防を呼びかける消防車両



▲二瓶消防団長より辞令書を受け取る
第2副分団長兼副訓練部長に任命された青木厚さん（西方）

～平成28年度全国統一防火標語～ 【誓います 森の安全 火の始末】 山火事・事故等に注意しましょう！

春先は枯草が地上に積もり下草も枯れているうえ、降水量も少なく空気が乾燥し季節風が吹くなど、林野火災が発生しやすい気象条件になっています。今年は暖冬の影響もあり、各地で火災が例年よりも早く発生しています。山火事は一度発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を消失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することとなります。とりわけ、これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日には火の取扱いに十分な注意が必要です。一人でも多くの方に山火事予防運動についてご理解をいただき、山火事の未然防止にご協力いただきますようお願いいたします。



三島町春季火災予防運動期間 平成28年度春の防火パレードを実施

火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とした、春季火災予防運動期間(4月5日から4月11日まで)に合わせて平成28年度春の防火パレードが4月10日に行われました。三島町消防団の宮下班の消防ポンプ自動車、大谷班と名入班の小型ポンプ付積載車2台など消防車両が車列をつくり町内全域を回り、火災予防を呼びかけました。防火パレードを実施し、更なる防火の啓発活動に励みます。

終了後は、幹部会が行われ、消防団の辞令交付などが行われました。本部幹部には第2副分団長兼副訓練部長に青木厚さん（西方）が三島町消防団長二瓶義徳さんより任命されました。

◆山火事や事故を防ぐために、次のことに注意しましょう◆

- ・たばこのポイ捨てはせず、決められた場所での喫煙や携帯灰皿を持参すること
- ・火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意するとともに消火用の水等を必ず用意すること
- ・山火事が発生したら速やかに通報し避難すること。消火しようとして煙に巻かれてしまい亡くなる方もいます。
- ・入山する際はあらかじめ行き先、ルートを確認し、家族に行き先を伝えておくこと。
- ・天気予報に気を配り、防策対策を徹底すること。無理な入山は控えましょう！

火災が発生した場合や発見した際には、無理して消火しようとせず速やかに119番通報してください。

☎三島町消防団・会津坂下消防署 三島出張所 ☎(52) 3032

さくらとカタクリの共演で大いに賑わう

文・写真 町民記者 本名与四郎さん(西方)

四月十四日(木)から十八日(月)まで西方の大林ふるさとの山において、「カタクリ・さくらまつり」が行われました。カタクリは山の斜面に群生し、年月を重ねるごとに増え続けて、約四ヘクタールほどの広さに薄紫色の可憐な花々が咲き誇っていました。また、カタクリの花の上を見上げると、樹齢五十年以上の年輪を刻んだオヤマザクラも満開近くとなっており、カタクリとさくらのコラボレーションは、まさに西方の先人が育んだ桃源郷の風景でした。まつりの期間中には近郷近在だけでなく、遠くは神奈川県や千葉県からの観光客や家族連れで賑わいを見せていました。中には、カメラでカタクリの生命溢れる一枚を写真におさめる愛好家の姿も数多く見受けられました。お昼近くともなると、仮設テントや管理棟において、お茶を飲んだりコッコミと小女子、スライスした玉ネギの和え物やおやきなどをほおばったりしながら、一服する花見客で賑わっていました。



春を告げる「大神楽」公演

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん(松原)

四月十日(日)毎年恒例の「柳津藤の和太神楽」の公演が地区多目的集会所で開催され二十八名の皆さんが来場されました。午前九時より各戸を獅子入りして、御札を配布しながら無病息災と五穀豊穡を願ひ獅子舞をし、大神楽の音を響かせました。午後二時より集会所で盛りだくさんの内容の演目が演じられ、特に女性芸人の演歌に合わせた舞踊に誘われ一緒に踊る来場者に爆笑と大拍手が送られました。約二時間三十分の演目に、最後まで地区の皆さんの歓声と拍手、笑い声が響き、大変楽しいひとときを過ごしました。



「宮下駅前壁画プロジェクト」除幕式

文・写真 町民記者 小島純さん(宮下)

四月二十三日(土)、観光交流館「からんころん」の隣に設置したパネルの除幕式が行われました。三島中学校の生徒が三島桐でできた百六十枚の板に宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の詩を一字ずつ書き、三島中前校長の馬場勇先生の描いた大パノラマの絵に貼り付けました。矢澤町長、半澤政人氏、千葉清藍氏、馬場勇先生と三島中の生徒が除幕式を行い、完成を祝いました。



平成二十八年三島町無火災祈願祭

文・写真 町民記者 小島純さん(宮下)

四月十一日三島神社において、平成二十八年度三島町無火災祈願祭が厳かに行われました。町、三島町消防団宮下班、町内の各事業所の代表らが一堂に参集。各代表者が神前に玉ぐし(櫛)を捧げ、今年一年の無火災を祈願しました。



町を支えるあたらしい力。



4月から新たに加わった、採用職員と地域おこし協力隊のメンバーをご紹介します。



地域政策課 地域政策係 主事

酒井 莉紗 さかい りさ
28歳 昭和村

地域政策課地域政策係に配属となりました酒井莉紗です。主に観光業務を担当しています。昭和村の出身で、現在は宮下地区に住んでいます。同じ奥会津ですが、三島町について知らないことがたくさんあるので、町民の皆さんにいろいろと教えていただけたらと思います。これから、よろしくお願いたします。

酒井さんってどんな人?

- ◎趣味 スキー
- ◎マイブーム 温泉めぐり
- ◎好きな言葉 一期一会



町民課 保健福祉係 保健師

二瓶 香 にへい かおり
27歳 大谷

こんにちは。二瓶香と申します。町民課保健福祉係に配属となり、保健師として活動しています。大谷地区出身で、三島町には久しぶりに戻ってきたのですが町の皆さんの元気に圧倒されています。皆さんと一緒に明るく楽しくニコニコと過ごしていけたらいいなと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

二瓶さんってどんな人?

- ◎趣味 さんぽ、お昼寝
- ◎今年目標 人の話をよく聞く
- ◎好きな言葉 下境不屈



地域おこし協力隊 (産業建設課)

小山田 睦美 おやまだ むつみ
20歳 秋田県

地域おこし協力隊として、農業支援に従事しています。小山田睦美です。農業は初心者で学ぶことも多く大変ですが、協力隊として三島町で見たもの、感じたものを外に伝えることで地域おこしに繋がりたいと思います。皆さんとたくさんお話をしたり体験したり、楽しく過ごせればと思います。よろしくお願いたします!

小山田さんってどんな人?

- ◎趣味 読書、ゲーム、お昼寝、おさんぽ、たべること、etc...
- ◎今年目標 皆さんの顔と名前をおぼえる!



地域おこし協力隊 (総務課)

常盤 達彦 ときわた つひこ
29歳 埼玉県

情報発信の分野で地域おこしに従事させていただきます。常盤達彦です。町の広報誌やケーブルテレビ、ホームページの制作のお手伝いをさせていただいており、三島町には来たばかりですが、楽しく過ごさせていただいています。もっと町民の方々と仲良く交流できれば嬉しいです。よろしくお願いたします!

常盤さんってどんな人?

- ◎趣味 ゲーム、小説執筆
- ◎マイブーム キャンプ (予定)
- ◎今年目標 三島の歴史を知る



民話

第61話 五月の節句の話

元故 五十嵐 ミヨノさん(西 方)
再話 五十嵐 七 重さん(西 方)

むかしなあ 山奥に、たんだ一軒家あつてな、とつつあま居だだ。

「この山奥では不自由だあ。かが(嫁)欲しいが、まんま食ねえがな いねえがなあ」なんて願つていだど。何ぼう何んだたつて、飯かねえでかせぐやつなんど、居るはずあんめえになあ」

「あゝ私は まんま食べませんから、よろしく」なんて美人なやつが入りこんだど。

「なんだ まま食ねえのが？願つたり叶つたりだあ」つうど一緒に泊まつたど。二日たつても三日たつても、まんま食わねえでドサクサ ドサクサかせえでんだど。

おかしなやつも居るもんだど、不思議で

「おれ ちよつこら他所さ行つてくつから、留守居してでくろ」つうど二階さかぐつちえ様子見ただどお。したれば あのおなこ

「いつ日も まま食ねえかがなんてあるんでねえ」グズグズ小言じいじい、でつこらまんま炊ぎはだつたど

「あららら何すんだべえ」とつつあま見でだ。

したら まんま握りはだつたく幾つも幾つも握つてでつこら握つてくこんだ顔が大蛇になったどお。大蛇だも でつかい大蛇口こく開けてポンポンポン たっぷりかみたかに一釜の握り飯入れちまつただどお

「はあ 何と、やれやれこれは大変だ。しめえに俺まで食われちちまあ。なじよしんべ」

おつかねえが知らんぷりして、戻つたふりして

「おめえ悪いけど、どうが帰つてくろ」つった

「ぼうがよ！おめえにも都合あんだべがらなあ、んじやが 俺にも頼みがあんだ」つうだど

「頼みつて何だど？」

「空っぽの味噌こが くんつえ」

「こが なの持つて行げ。でつけえがら荷縄で背負つてげ」つうど荷縄

で背負わせでくれべえどしたど。したら

「手え 引っぱつてくんつえ」つうがら 手おさえて起こすべどしたらグイラショーカがあにひっぱらちちえ、こがん中さ入ちちまつたど。かがのやろ とつつあま、こがごで背負つてゴンゴン ゴンゴン山さ行つたど。しかもなあ グズグズ グズグズ じいじい

「世の中を考えでみだつてわがんべえ。まんま食ねえ嫁がどこに居る！」とつつあま ふるえでだ。

「あーくたびつちや。ひとやすみだ」つうど こが降ろして休んだ。

「おれは食われちちまあ。困つたなあ 神様あ 神様あ」

したれば こがの中さフジつるたれできたど

「あつ ありがたい！」ちよいつとつるさつかまつて逃げだど とつつあ

まドンドン山の上さについで、別な方がら家の方さ跳んだど

「ああー逃げられつまつたく」かるぐなつて気づいで 今度あ本物の大蛇なつて ダーダダダー追っかけたら、はるか向こうにとつつあま跳んでんだど

「待でく待でく」追つてくる

「ああーやんだあー」とつつあま菖蒲とヨモギのやぶさダダツつと隠ちやど。大蛇は

「ああー残念だあ。これは残念だあくても臭くて入えらんねえ」つうど大蛇は行つまつたど。

「ああ これは蛇除げだ。良いもんだなあ。また、来ねえつうごどもねえ。家さ持つてつて蛇除げにしんべ」

とつつあまは菖蒲とヨモギ軒先さ挿したり 風呂さたでだりして欲っかぎはやめで魔よけしたつうわ。

五月五日の日であつたがらなあ、他の達えもやるようになったわな。

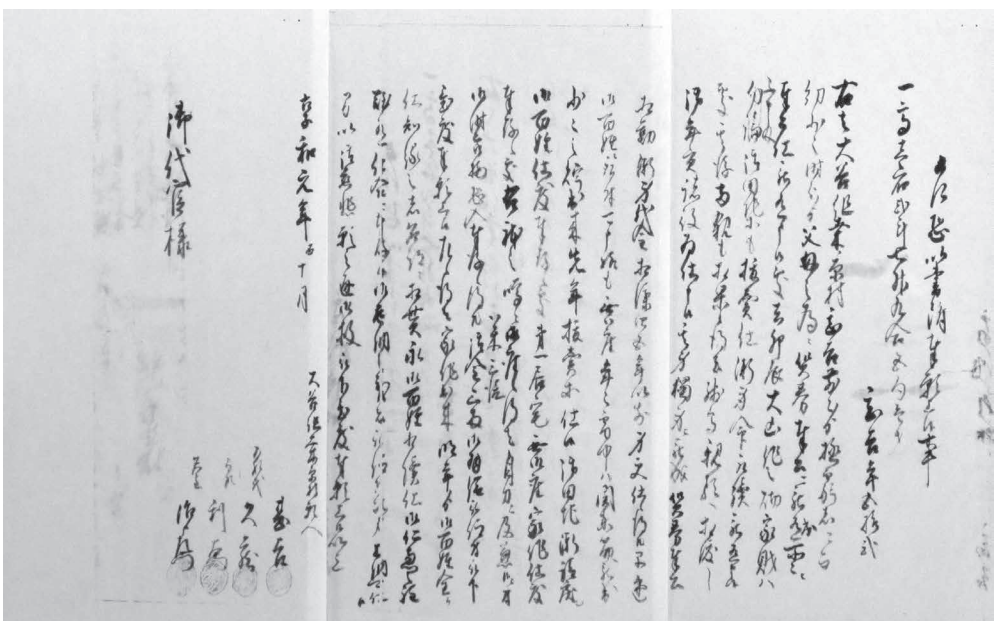
ざつとむかしさかえもうした

町史編さん室だより

第4回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで一報ください。
☎(52) 2165

「桑原村貧窮百姓より家作金拝借願ひ」



江戸時代に今日のような社会保障制度はありませんでした。下層農民など一度生活に困まれば更生することはまず不可能で、死つづれや売つづれにより無跡化し、先祖代々より受け継いだ百姓株を放棄して離村するより他はない大変な時代でした。

そんななかでも艱難^{かんなんしんく}辛苦を物ともせず、貧窮生活から見事に立ち直つた老百姓が桑原村にいました。今回紹介するのはそんな模範的な老百姓のことが記された極めて貴重な史料です。

史料の前半には甚吉という人物が天明の飢饉で両親を失つても村を捨てることなく、一念発起して働きに働き、生家再生の意思を貫き通したことが書かれており、史料の後半では百姓にもどるにも住む家がない故、自力で家作するので金三両を拝借したいと願ひ出ています。

〈読み下し〉

恐れ乍ら書付を以て願上げ奉り候事
高老石式斗七升九合五勺壹才

甚吉年五拾貳
右は大谷組桑原村甚吉、前々より極窮者にて幼少時分より父母の為に質券奉公に罷り出、所々に奉公仕り罷り有り申候

ところ、去る卯辰(天明三、四年 一七八四)

一七八五) 大凶作のみぎり、家財は申すに及ばず御田地等も抜き売り仕り、漸く身命取り続け罷り有り申候処、其の後両親も相果て候えば、残高親類へ相渡し御年貢諸役仕わさせ申候、其の身独身に罷りなり質券奉公相勤め、漸く身代金相済ませ四、五年以前身請け仕り候えども、早速御百姓に取り付く申すべく様も御座無く、年々雪中は関東筋へ罷り出少々々の貯え出来、先年抜き売り等仕り候御田地漸く請戻し、御百姓仕りたく存じ奉り候処、第一居宅御座無く家作仕りたく存じ奉り候処、右躰の噂に御座候へば自力に及び兼ね候に付き、ご時節柄恐れ入り存じ奉り候へども、御金三両御拝借仰せ付けられ下し置かれたく願ひ奉り候へば、家作出来明年より御百姓全く仕り、知縁の者名跡に貰ひ永御百姓相続け仕り、御仁恵のほど有難き仕合に存じ奉り候(以下略)

享和元年酉十月 大谷組桑原村頼人 甚吉

百姓代 久蔵
組頭 利右衛門
名主 治郎左衛門

御代官様

※原文には句読点も送り仮名もなく、これは読み下したものです。

文・読み下し 角田 伊一

事業主の皆さんへ

労働保険の年度更新等に関するお知らせ
平成 28 年度の労働保険の年度更新の申告期限は

7 月 11 日です。

期限までに、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、福島労働局において手続きをされますようお願いいたします。

労働保険の年度更新は電子申請を、労働保険料等の納付は口座振替をご利用ください。

●福島労働局 総務部 労働保険徴収室
☎ 024 (536) 4607

ご寄附

ありがとうございました

ふるさと納税 (町へのご寄附)

舟木 良 平 様 (岡山県玉野市)

山中 弥寿彦 様 (東京都大田区)

坂内 綾 子 様 (新潟県南魚沼市)

5 月の納税

納期限 5 月 3 1 日

▶国民健康保険税 (1 期)

▶介護保険料 (普通徴収) (1 期)

忘れずに納付ください。

役場 町民課

町の人口と世帯

4 月 1 日現在

人口	1,744	-10	出生	0
男	842	-10	死亡	5
女	902	0	転入	6
世帯	786	0	転出	11

②住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月 1 カ月間に届出のあった人数です。

総務省からのお知らせ

電波はルールを守って 正しく使いましょう

6 月 1 日～ 10 日は

電波利用環境保護周知啓発強化期間です

《電波の混信・妨害についてのお問い合わせ》

総務省東北総合通信局相談窓口

☎ 022 (221) 0641

— 自動車税の納付、減税申請はお早めに —

自動車税は、県民の皆様の福祉の増進、教育等に使われている大切な税金です。納期限までに忘れずに納付してください。

●納期限… 5 月 3 1 日 (火)

●注意点… 4 月 1 日現在の所有者に課税されます。
領収書に継続検査 (車検) 用の納税証明書がついていますので大切に保管してください。

●納付の場所

最寄りの金融機関、コンビニエンスストア等で納付してください。

今年からクレジットカードでも納付できるようになりました。(インターネットサイトにアクセスして支払い)

自動車税の減税申請

身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳等を所持している方のために使用される自動車で、一定の要件に該当する場合は、申請により自動車税が減免されます。

●申請期限… 5 月 3 1 日 (火)

●会津地方振興局県税部 ☎ 0242 (29) 5261

平成 28 年度 国家公務員 「税務職員採用試験」 (高校卒業程度) のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

○受験資格

- 1 高卒見込の者及び高卒後 3 年を経過していない者
- 2 人事院が 1 に掲げる者と同等の資格があると認める者

○受験申込受付期間

- ・ 平成 28 年 6 月 20 日⑨から平成 28 年 6 月 29 日⑩まで

○受験申込方法

受験申込みはインターネット申込みとする。

なお、インターネットで申し込めない場合は、受験申込受付期間前に仙台国税庁人事第二課又は人事院東北事務局へ連絡する。

○第 1 次試験日

平成 2 8 年 9 月 4 日⑪

●仙台国税局人事第二課試験研修係 ☎ 022-263-1111 内線 3236
人事院東北事務局 ☎ 022-221-2022

— 放送大学 1 0 月入学生募集 —

放送大学はテレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成 28 年 10 月入学生を募集しております。詳しい資料を送付いたしますので、お気軽にお問合せください。

○募集学生の種類

— 教養学部 —

科目履修生 (6 ヶ月在学し、希望する科目を履修)

選科履修生 (1 年間在学し、希望する科目を履修)

全科履修生 (4 年以上在学し、卒業を目指す)

— 大学院 —

修士科目生 (6 ヶ月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生 (1 年間在学し、希望する科目を履修)

○出願期間

平成 28 年 6 月 15 日～平成 28 年 8 月 31 日、9 月 1 日～9 月 20 日

(インターネットでの出願も受け付けております)

●〒 963-8025 郡山市桑野 1-22-21(女子大学もみじ館内)

放送大学福島学習センター ☎ 024-921-7471

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯

(4 月 1 日現在)

1 件

なりすまし詐欺に ご注意！

○各地で詐欺被害○

▼還付金詐欺 81 万円被害！

携帯電話に還付金の振込担当を

名乗る者から、コンビニエンスス

トアの電子マネーを 36 回計 81 万

5 千円購入し、指定されたメール

アドレスに電子マネー使用に必要

な番号を送信したもの。(電子マ

ネーを購入させ、ID を教えるよう

に要求する詐欺)

▼名義貸し詐欺で 1,000 万円被害！

会社員を名乗る者から名義を貸

してほしいと言われ後日、別会社

を名乗る者から和解金等名目で複

数回にわたり、合計 1,000 万円を

宅配便で送ったもの。(宅配便や

レターパックで現金を送るように

要求する詐欺)

これらの行為は詐欺です。

警察や家族等に相談してく

ださい。

街頭犯罪発生件数 (1 月～3 月)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	1	
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	1	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	2	
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	5	0
全 刑 法 犯	22	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外 (器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など) の犯罪発生件数が含まれます。

町交通教育専門員に栗城功さんが再任



▲矢澤町長から町交通教育専門員の委嘱を受ける栗城さん

4 月 1 日、栗城功さん (宮下) に平成 28 年度町交通教育専門員を委嘱しました。栗城功さんは平成 25 年から交通教育専門員を務め、児童生徒の登下校時などの安全指導や、交通教室でのルール指導、街頭での交通安全指導などに従事しています。

鳥獣被害対策実施隊員及び 有害鳥獣駆除員に 1 2 名を委嘱

平成 28 年度の鳥獣

被害対策実施隊員及び

有害鳥獣駆除員の委嘱

状の交付が 4 月 21 日

に行われました。隊員

を代表して、佐藤好一

さん (荒屋敷) が矢澤

町長より委嘱状を受け

取りました。



▲矢澤町長から委嘱状を受け取る隊員のみなさん

《 鳥獣被害対策実施隊員及び有害鳥獣駆除員 》

隊長：佐藤好一

隊員：二瓶政一、坂内澄男、阿部政敏、大島昇一、菅家藤一、

二瓶義徳、秦正信、阿部通利、海老名健、青木正幸、小松信

霜にご注意ください

三島町防霜対策本部設置

期間 4 月 18 日 (月) ～ 5 月 31 日 (火)



農作物の霜害を未然に防ぐた

め、三島町防霜対策本部を設置し、

霜注意報が出た場合、防災無線に

より町内一斉放送を行います。

また、霜による被害が出た場合

には役場産業建設課までご連絡を

お願いいたします。

●役場産業建設課 ☎ (48) 5556

作る人の手から

使う人の手へ

第30回

第30回工人まつり記念セレモニー
30周年同時開催
生活工芸展「会場：やまびこ」

会津江人まつり

全国から工人170軒が集結!

平成28年

6月11日・12日 午前9:00 ~ 午後4:00
(最終日は午後3:00)

会場

福島県奥会津 三島町生活工芸館

同時開催

てわっさの里まつり【会場：三島町宮下地区】 / 山と木の市場【会場：三島町名入】

町長日記 (不易流行)

No. 10

四月十七日執行の町議会議員選挙において、当選しました八名の皆さんに心よりお慶びを申し上げます。依って立つ立場は違いますが、三島町の課題であります循環型社会の構築のための農業振興対策、若者定住対策、少子高齢社会対策、生活工芸村構想、そして健康づくり等の問題を議論しながら、「町民の幸せのため」に「協働」の精神で頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

さて、5月連休後早速、前段の課題解決のため、広範な視点から議論をしていただく「プロジェクト」を設立していきます。これらのプロジェクトを通して、課題解決の方向性を探り、町振興計画後期基本計画や町総合戦略の実現のために、スピード感を持って実施していきます。

町には、まちづくり基本条例があります。この条例の精神は「協働」を尊重し議論を通し、まちづくりを展開して行く「方法論」の条例であります。この精神を生かし、プロジェクトを展開していきます。町民・議会・行政の3者の立場を尊重しながら、より一層町民の皆さんから信頼される事業展開を図ってまいります。

一九六〇年代の高度経済成長期からはじまる人の減少、一九八〇年代からは、人の減少と連動し、土地の耕作放棄地の進行。一九九〇年代から、高齢者の人口が50%になると限界集落と呼ばれ、集落や町村機能の低下が叫ばれ、特に豪雪・中山間地域の住民は、この地で生きる「プライド」まで喪失する傾向の時代状況の中で、特に町職員がここに生きる誇りを失うことなく職員が丸となって「チーム三島」の先頭にたって元氣を出して行きます。そのためには、職員個人個人が、この状況の課題を、自分の問題として「主体的に受け入れる」仕事に対する姿勢が大事であると考えます。場面場面での町民の皆さんのご協力・ご指導をお願いするものです。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5511

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

■印刷 北日本印刷株式会社